

64

巴来万国史（パーレー万国史）		
209-120	明治9年(1876)	N.Hawthorne原著 Parley編 牧山耕平訳
原著は子ども向けの歴史の本。その文章は平易で内容も興味深く、そのため多くの翻訳本が出された。本書はその全訳で、文部省から刊行され広く流布した。		

- ◆ 洋装仕立ての上下2巻本（それぞれ488, 536ページ）。上巻の凡例には、パーレーの『万国史』の原典を幼童が読む際に、本書が参考になるようになるべく原典に沿うように訳した、とある。章立て及び各内容は原著と同一である。しかしその内容と分量から察するところ、文部省は、本書をそのまま小學校生徒の教科書として使用させる方針ではなく、教師用の教材参考書となっていたと考えられる。

全体の構成は以下の通りである。

上巻 第1章～第5章	緒言	下巻 第104章～第159章	欧羅巴
第6章～第37章	亜細亜	第160章～第187章	亜米利加
第38章～第47章	亜非利加	第188章～第193章	オーシェアニカ
第48章～第103章	欧羅巴	第194章	復説
		第195章～第198章	概論

- ◆ 当館所蔵本は「静岡県浜松瞬養学校」の印記をもつ。

65

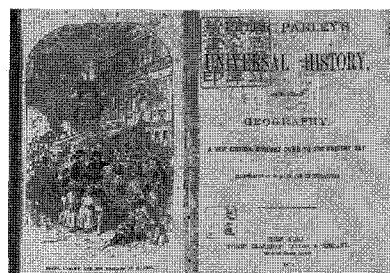
Peter Parley's Universal History on the Basic of Geography		
G209-16	1872	N.Hawthorne原著 S.G.Goodrich編
『巴来万国史』の原本。明治期を通じて、初歩の万国史の教科書や英語の副読本として広く使われた。		

- ◆ ピーター・パーレー（Peter Parley）はグッドリッチ（Samuel Griswold Goodrich 1793－1860）のペンネームである。グッドリッチはアメリカの文筆家、出版業者。グッドリッチは、パーレーの筆名で自ら子ども向けの本などを出版する一方、数人の人々に頼んで、歴史教科書や科学・博物学などの入門書を書いてもらうことを計画した。その一環として、彼は、多くの読者を対象にした万国史をつくらうと考え、これをホーソー（Nathaniel Hawthorne 1804－1864）に依頼した。ホーソーが姉の助けを借りて書いた原稿を、グッドリッチは100ドルで買い上げ、自らのペンネームを冠した書名で出版した。これが本書である（初版は1837年）。アジア、アフリカ、ヨーロッパ、アメリカ、オセアニアの順に、各国ごとの歴史が地図や絵とともに記述されている。その内容は子ども向けであり、学術的価値は低いとされている。

<参考資料> 「S. Gグッドリッチと『パーレーの万国史』」（『英学史研究』第2号所収）（Z83-4）



64 巴来万国史



65 ピーター・パーレー万国地誌